

令和6年度

学校要覧

国立大学法人 千葉大学教育学部附属特別支援学校

〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町312番地

TEL 043 (258) 1111

FAX 043 (258) 9303

e-mail : fuyou@ml.chiba-u.jp

<http://yougo.e.chiba-u.jp>

千葉大学教育学部附属特別支援学校校歌

三越左千夫 作詞
山崎八郎 作曲

♩ = 100~104

ふ た ば の め か ら き は の び て そ
し ほ う へ え だ を し げ ら せ て か
こ ず え は た か く そ ら を さ し か

ら か ら や さ し い ひ の ひ か り
が や く あ お ぼ に う た う か ぜ
お り も ゆ た か に ひ ら く は な

そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で た の し く ま な び
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で く る し い こ と も
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で し っ か り ふ か く

す く す ー く ー と の び る お お き な る
の り こ ー え ー て の と い り の あ つ ま る
ね を は ー っ ー て い つ か み の な る

き に な ろ う
き に な ろ う
き に な ろ う

校 歌

三越左千夫 作詞

双葉の芽から 木はのびて
空からやさしい 陽の光
そうだ そうだ
みんな で みんなで
楽しく学び すすくと
のびる大きな 木になろう

四方へ枝を 茂らせて
輝く青葉に 歌う風
そうだ そうだ
みんな で みんなで
苦しいことも 乗り越えて
鳥の集まる 木になろう

こずえは高く 空をさし
薫りもゆたかに 開く花
そうだ そうだ
みんな で みんなで
しっかりと深く 根をはって
何時か実のなる 木になろう

目 次

1. 沿 革		3
2. 本校の役割		5
3. 教育目標		5
4. 本校の特色		6
5. 児童生徒の概要		6
6. 教育実習年間計画		7
7. 主な行事予定		7
8. 小学部の生活		8
(1) 学級編制と児童数	(3) 一日の生活の流れ	
(2) 週日課表	(4) 一年間の学校生活	
9. 中学部の生活		11
(1) 学級編制と生徒数	(4) 校内実習及び産業現場等における実習	
(2) 週日課表	(5) 一年間の学校生活	
(3) 一日の生活の流れ		
10. 高等部の生活		15
(1) 学級編制と生徒数	(4) 学級活動等	
(2) 週日課表	(5) 産業現場等における実習	
(3) 一日の生活の流れ	(6) 一年間の学校生活	
11. 進路・移行支援年間計画		19
12. 卒業・修了生の進路		20
(1) 卒業・修了時の進路	(2) 就職後の動向	
13. 卒業生への対応		21
14. 児童生徒の入学募集等		21
(1) 募集人員	(4) 入学者選考	(7) 体験入学
(2) 応募資格	(5) 入学・教育相談	
(3) 募集時期	(6) 学校見学会	
15. 学校運営組織		22
(1) 教職員等	(2) 校務分担	
16. 学校周辺案内図		24

1. 沿 革

昭和40年4月1日、附属小学校に特殊学級（知的障害）の開設が認可。学級開設準備を附属第一小学校（千葉市市場町26番地、現在千葉県立中央図書館所在地）において進める。同年10月15日、小学校下学年学級（児童数3、教官1）の開級式及び入学式を挙行。翌41年度、小学校上学年学級が増設され、特殊学級校舎落成。42年度には、附属中学校特殊学級の開設許可。5月に、中学校特殊学級校舎落成、同一敷地内に小・中学校特殊学級校舎が設置。43年度、44年度に中学校特殊学級各1学級が増設。45年度に小学校中学校学級が増設認可。小学校3学級、中学校3学級の計6学級となった。47年度、学級数6、児童生徒数61名、教官数8名、職員数1名。この年、附属養護学校設立予算が認められ、翌48年度に、これまでの小・中学校特殊学級が養護学校として独立。平成19年4月1日より、附属特別支援学校に校名を変更。現在に至っている。

昭和48年4月1日	千葉大学教育学部附属養護学校開校 初代校長 宮本茂雄教授就任 学級数6、教官数12、職員数3、児童生徒数59 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 -生活単元学習の計画とその指導について-	5月17日 新校舎用地取得（18,996㎡） 昭和56年4月1日 学級数9、教官数22、職員数4、非常勤講師3、児童生徒数69 研究テーマ「生活単元学習再考」 -子どもたちの生き生きとした姿をみつめて-
5月22日 昭和49年4月1日	開校式挙行 高等部開設認可（学年進行1年目） 学級数7、教官数15、職員数3、非常勤講師1、児童生徒数63 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 -小学部「子ども会単元による表現能力の指導」- -中・高等部「のぞましい作業態度をのばすための指導計画」-	9月30日 新校舎建設着工 11月10日 「実践生活単元学習」（学習研究社）刊行 昭和57年4月1日 学級数9、教官数23、職員数4、非常勤講師4、児童生徒数69 研究テーマ「新しい学校生活づくり」 -教育課程編成を学校生活づくりと捉えて-
昭和50年4月1日	高等部（学年進行2年目） 学級数8、教官数16、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数64 研究テーマ 小学部「日常生活指導の指導課程の編成」 -中学部「体力を高めるための指導計画」- -高等部「職場適応を高めるための指導」-	6月29日 新校舎竣工 7月26日 新校舎へ移転完了 9月1日 職員数8（栄養士、技能補佐員含む） 9月16日 校歌制定発表会挙行（作詞 三越左千夫、作曲 山崎八郎） 校旗制定 9月22日 新校舎落成記念・創立十周年記念式典挙行
4月11日 10月15日	高等部作業棟落成式典挙行 特殊学級開級十周年記念式典挙行（記念誌発行、記念植樹）	昭和58年3月31日 小出 進校長任期満了（二期5年） 運動場整備工事竣工（着工 昭和57年10月） 4月1日 三代校長 白井哲之教授就任 学級数9、教官数24、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数71 研究テーマ 前年度より継続 運動場開き挙行（小運動会）
昭和51年4月1日	高等部（学年進行3年目） 学級数9、教官数20、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数67 研究テーマ 前年度より継続	昭和59年2月26日 プール工事竣工（着工 昭和58年10月） 4月1日 学級数9、教官数25、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数73 研究テーマ 前年度より継続
昭和52年4月1日	学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数64 研究テーマ「重度化・多様化に対応する生活単元学習の実践的研究」	5月31日 プール竣工記念式典挙行 昭和60年4月1日 学級数9、教官数25、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数69 研究テーマ 前年度より継続
昭和53年3月31日 4月1日	宮本茂雄校長任期満了（二期5年） 二代校長 小出 進教授就任 学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数67 研究テーマ「生活単元学習再考」 -子どもとともにつくる生活単元-	昭和61年4月1日 学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数71 研究テーマ 前年度より継続 昭和62年2月25日 「実践教育課程」（学習研究社）刊行 4月1日 学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数70 研究テーマ「学校生活の集団化と個別化」 -よりきめ細かな学校生活づくりを意図して-
昭和54年4月1日	研究紀要の他に、この年度より実践記録「実践メモ」を発行 学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師2、児童生徒数70 研究テーマ「生活単元学習再考」 -どの子も生き生きと生活することをねがって-	昭和63年3月31日 白井哲之校長任期満了（二期5年） 4月1日 四代校長 小出 進教授就任 学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数68
昭和55年4月1日	学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師3、児童生徒数70 研究テーマ 前年度より継続	

平成元年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数68				
平成2年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	5月24日	創立三十周年記念式典挙行(記念誌発行)		
平成3年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	7月17日	創立三十周年全校記念旅行(清里方面)		
平成4年 2月28日	研究テーマ 前年度より継続 「実践作業学習」(学習研究社)刊行 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	平成15年 2月28日	「ものづくり 学校生活づくり」(K&H社)刊行		
5月22日	研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育」 -子ども主体の生活を大切に- 創立二十周年記念式典挙行(記念誌発行)	4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数78		
平成5年 3月31日	「実践遊びの指導」(学習研究社)刊行	平成16年 2月27日	研究テーマ 前年度より継続 「支援案の書き方 個別の支援計画」(K&H社)刊行		
4月1日	創立二十周年を記念して、「生活のための、生活による、生活の教育」(全4巻)を刊行	4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師4、児童生徒数71		
平成6年 4月1日	小出 進校長任期満了(二期5年)	平成17年 2月25日	研究テーマ 前年度より継続 「授業が変わる・単元が変わる」(K&H社)刊行		
4月1日	五代校長 久米 公教授就任 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数69	4月1日	学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数70		
平成7年 3月7日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数69	3月31日	研究テーマ「一人ひとりの思いを大切にした豊かな学校生活づくり」 -子ども主体の状況づくりを深めて-		
4月1日	研究テーマ 前年度より継続 「子ども主体の生活単元学習」(学習研究社)刊行	4月1日	「ニーズに取り組み 個への教育支援づくり」(K&H社)刊行		
平成8年 3月31日	学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数72	平成18年 2月24日	太田俊己校長任期満了(二期5年)		
4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数72	3月31日	八代校長 石井克枝教授就任		
平成9年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数74	4月1日	学級数9、校長1、教諭29、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数72		
研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育 II」 -一人ひとりの主体的活動を願う支援の最適化-	平成19年 2月23日	平成19年 2月23日	研究テーマ 前年度より継続 「知的障害教育・基礎知識Q&A」(K&H社)刊行		
平成10年 4月1日	学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数77	4月1日	千葉大学教育学部附属特別支援学校に校名変更		
平成11年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数76	平成20年 2月22日	学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数69		
平成12年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数72	4月1日	研究テーマ 前年度より継続 「『できる状況づくり』Q&A」(K&H社)刊行		
平成13年 3月31日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数72	10月29日	学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数70		
4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数76	平成21年 2月20日	研究テーマ 前年度より継続 全日本特別支援教育連盟「研究奨励賞」受賞(京都市大会)		
平成14年 2月22日	研究テーマ 前年度より継続 「実践生活中心教育」(学習研究社)刊行 「生活中心教育の原理」(K&H社)刊行	4月1日	「生活単元学習・作業学習の進め方Q&A」(K&H社)刊行		
4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数75	平成22年 2月19日	学級数9、校長1、教諭27、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数67		
研究テーマ「子どものための、子どもによる、子どもの学校生活」	平成23年 2月18日	4月1日	研究テーマ 前年度より継続 「どの子も主役の学校生活づくり」(K&H社)刊行		
	3月31日	平成24年 4月1日	学級数9、校長1、教諭29、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数73		
	4月1日	7月18日	研究テーマ「共に豊かに生きる学校生活をめざして-子どもの思いに寄り添い、子ども主体を支える-」 「統ものづくり 学校生活づくり」(K&H社)刊行		
			石井克枝教授任期満了(二期5年)		
			九代校長 太田正己教授就任		
			学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数71		
			研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師2、児童生徒数72		
			研究テーマ 前年度より継続 創立四十周年記念式典挙行(記念誌発行)		

平成25年 3月31日	太田正己校長退任				
4月1日	十代校長 北島善夫教授就任				
平成26年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数68	令和2年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53		
平成27年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭25、職員数6、非常勤講師3、児童生徒数58	令和3年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 大規模改修工事 終了 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数54		
平成28年 4月1日	研究テーマ 今日的な課題に応える 「領域・教科を合わせた指導」の授業づくり	令和4年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数8、非常勤講師5、児童生徒数60		
平成29年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数54	令和5年 3月31日	研究テーマ「子どもが自ら学びに向かう各教科等を合わせた指導の授業づくり-AARサイクルを生かした実践-」 細川かおり教授任期満了(二期5年)		
平成30年 3月31日	研究テーマ 確かな学びを支える領域・教科を合わせた指導の授業づくり	4月1日	十二代校長 辻 耕治教授就任		
4月1日	北島善夫教授任期満了(二期5年)	令和6年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭26、実習助手1、職員数10、非常勤講師5、児童生徒数61		
平成31年 4月1日	十一代校長 細川かおり教授就任		研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、実習助手1、職員数9、非常勤講師1、児童生徒数61		
	学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53		研究テーマ「令和の教育的ニーズを踏まえた各教科等を合わせた指導-授業づくりを通して-」		
	研究テーマ 前年度より継続 大規模改修工事 着工				
	学級数9、校長1、副校長1、教諭				

2. 本校の役割

本校は、知的発達に障害のある児童生徒を対象に、常によりよい教育実践をめざすことに加え、国立大学法人千葉大学教育学部の目的に沿い、附属学校として次の役割を追求する。

- (1) 教育学部の教員及び学生とともに実践的研究を行う。
- (2) 教育の実践的研究を推進し、その成果の公開・発信に努める。
- (3) 教育実習を充実し、有為な教員の養成を推進する。
- (4) 研究・研修・交流等を通して、教員の資質向上と人材育成に努める。
- (5) 県内や地域における特別支援教育の推進に努める。

3. 教育目標

児童生徒一人ひとりが、仲間とともに活動する中で、個性を存分に発揮し、目当てと見通しをもちながら、自立的・主体的に生活できるようになる。

4. 本校の特色

児童生徒一人ひとりが力と個性を存分に発揮し、心豊かに育つよう学校生活の充実に努める。児童生徒の自立的・主体的な生活の実現をめざし、日々の生活を整える。

- (1) 小学部では生活単元学習、遊びの指導、日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習をそれぞれ教育課程の中心に据えて学校生活を整え、児童生徒の充実した学校生活の実現に努めている。
- (2) 児童生徒が、一定期間、一定のテーマをもって、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにしている。「運動会」「ふよう祭」などの、学校全体で取り組む生活単元学習や学校行事は、児童生徒会の役員会が中心となって企画・運営している。児童生徒会の各委員会や学級が、それらの準備等の活動に取り組み、児童生徒が中心となって学校生活を進めている。
- (3) 卒業後、働く活動を中心とした社会生活を確実につなげるよう、働く活動を学校生活に大きく位置づけるとともに、社会とかかわる生活を大切にしている。教育活動を地域の社会にも求め、中学部と高等部では、企業や施設などにおける現場実習を積極的に実施している。

5. 児童生徒の概要

本校は、小学部、中学部及び高等部の3部からなる。小学部は、低学年、中学年及び高学年の3学級からなり、中学部及び高等部は、学年別に3学級で編制されている。1学級の定員は、小学部及び中学部が各々6名、高等部が8名である。

(1) 学級編制

性別	小学部							中学部				高等部				合計	
	低		中		高			計	1	2	3	計	1	2	3		計
	1	2	3	4	5	6											
男	3	2	3	2	3	3	16	4	5	4	13	5	6	7	18	47	
女	0	1	0	1	0	0	2	2	1	2	5	3	2	2	7	14	
計	3	3	3	3	3	3	18	6	6	6	18	8	8	9	25	61	

(2) 居住地

	千葉	船橋	習志野	四街道	佐倉	市原	八千代	木更津	合計
小学部	9	1	1	6	1	0	0	0	18
中学部	6	3	2	4	1	0	2	0	18
高等部	12	0	4	2	3	1	2	1	25
計	27	4	7	12	5	1	4	1	61

(3) 通学時の交通機関

注 年度当初の予定

交通機関	小学部				中学部				高等部				合計
	低	中	高	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
スクールバス	1	3	2	6	2	3	2	7	1	0	0	1	14
保護者送迎	5	3	4	12	4	3	4	11	4	5	0	9	32
公共交通機関	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	8	15	15
計	6	6	6	18	6	6	6	18	8	9	8	25	61

6. 教育実習年間計画

注 年度当初の予定

年次・専攻	班別	人数	実習期間
4年次副専攻(コア実習)	1	16	5月13日～5月24日
	2	16	10月28日～11月12日
3年次主専攻コア実習Ⅱ	1	18	8月29日～9月20日
	2	17	11月13日～12月11日
2年次主専攻プレ	1	未定	1月14日、1月15日
	2		1月16日、1月17日
3年次副専攻プレ		未定	1月9日、1月10日
2年次主専攻コア実習Ⅰ		未定	2月12日～2月18日
4年次副専攻フォローアップ実習		32	11月11日
3年次主専攻フォローアップ実習		35	小：12月13日 中：1月31日 高：2月21日

7. 主な行事予定

注 年度当初の予定

①②③は小・中・高の各部

月	行事	月	行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(前期) 入学式 ①②③新入生歓迎会 発育測定/体重測定(毎月) 定期健康診断 PTA総会 避難訓練(年6回) 誕生会(毎月) 体力・運動能力調査 	8月	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み作品展 学校見学会Ⅱ期
		9月	<ul style="list-style-type: none"> ③「学部合宿」(2泊3日) ①「校外宿泊学習」(1泊2日) ②「宿泊学習」(1泊2日) ①1学年校内実習 ②・3学年産業現場等における実習 ③産業現場等における実習Ⅱ期
		10月	<ul style="list-style-type: none"> 終業式(前期) 秋休み 始業式(後期) 下校指導
5月	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 ③3学年修学旅行(2泊3日) ③1学年校内実習 ③2・3学年産業現場等における実習Ⅰ期 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 教大協千葉大会(第52回公開研究会を兼ねる) ①秋の遠足
		6月	<ul style="list-style-type: none"> ③「卒業式」
6月	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観週間 プール開き 入学募集要項公示 ①授業研究会 学校見学会Ⅰ期 ③1学年「宿泊学習」(1泊2日) ②作業製品販売会「夏市」 ③授業研究会 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ③「駅伝大会」 ②「駅伝大会」 ①6学年修学旅行(2泊3日) ①音楽発表会 ③2学年修学旅行(2泊3日) 冬休み
		1月	<ul style="list-style-type: none"> 冬休み作品展 授業参観日
		2月	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流イベント キテキテ!～知ろう・遊ぼう・やってみよう～ ②作業製品販売会「冬市」 ③ものづくり市
7月	<ul style="list-style-type: none"> ③3学年修学旅行(2泊3日) ①「校内宿泊学習」(1泊2日) ③授業研究会 夏休み 体験入学 同窓会 	3月	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒会役員選挙 ①②③お別れ会・送別会 卒業式 修了式 春休み

8. 小学部の生活

家庭との連携を図り、健康で充実した学校生活を通して、基本的な生活習慣を身につけ、自立的な生活の基盤を作ることができるよう、以下に重点を置く。

- ・自分のことを自分で行おうとする意欲と技術を養い、身辺自立を図る。
- ・目当て見通しをもって、安心して学校生活を送ることができるようにする。
- ・仲間への興味関心を高め、人と関わる力や役割を担う力を育てる。
- ・健康な身体をつくり、豊かな心を養うことを通して、よりよく社会生活を送る基盤を培う。

(1) 学級編制と児童数

学級	学年	男	女	小計	合計
低学年	1年	3	0	3	6
	2年	2	1	3	
中学年	3年	3	0	3	6
	4年	2	1	3	
高学年	5年	3	0	3	6
	6年	3	0	3	
合計		16	2	18	18

(2) 週日課表

《低・中学年学級》

時間*	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:30	着替え・係活動				
9:50	全校朝会 (月2回)	朝の会			
10:15		体育「おはよう広場」			
10:30	朝の会				
11:45	生活単元学習／遊びの指導				
12:00	給食準備				
13:00	給食・昼休み				
13:30	自立活動／生活単元学習「チャレンジタイム」				
14:00	着替え・帰りの会				
	下校				

《高学年学級》

時間*	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:30	着替え・係活動				
9:50	全校朝会 (月2回)	朝の会			
10:15		体育「おはよう広場」			
10:30	朝の会				
11:45	生活単元学習／遊びの指導				
12:00	給食準備				
13:00	給食・昼休み				
13:30	児童生徒会 (月2回)	自立活動／生活単元学習「チャレンジタイム」			
13:50		着替え 帰りの会			
14:00					
14:30	着替え・帰りの会		下校	着替え・帰りの会	
15:00	下校		下校		

*活動開始時間

(3) 一日の生活の流れ

- ① 登校・着替え・係活動・朝の会 (9:00~9:50)
登校後、連絡帳などを所定の場所に置き、着替えを行う。着替えが終わったら、ごみ捨てや教室の掃除、エプロンたたみ、健康観察カードの記入などの係活動を行う。学級ごとの朝の会では、出欠や天気の確認、サインや写真・絵カードなどで一日の活動への見通しをもてるようにし、期待感を高める。
- ② 全校朝会 (月2回 月曜日 9:30~10:15)
児童生徒会役員会の司会・進行により、「校長先生の話」「児童生徒会長の話」「その時期の生活に関連した児童生徒の活動のお知らせ」「ゲーム」などを行う。
- ③ 体育「おはよう広場」(火~金曜日 9:50~10:30 ※全校朝会の無い月曜日にも実施)
音楽に合わせたリトミック運動をした後、サーキットやボール運動、リレー、短距離走、長距離走など、期間を設けて、様々な運動を行う。
- ④ 生活単元学習／遊びの指導 (月~金曜日 10:30~11:45)
「生活単元学習」は、時期ごとにテーマを決めて活動を進めていく。全校で取り組む単元と、学級や小学部全体で取り組む単元があり、年間計画表のように組んでいる。
「遊びの指導」は、年3回、体育館やグラウンドに「遊び場」を設定して、小学部全体で取り組む。一人ひとりの遊びの段階に合わせた遊具や場を設定し、主体的に遊びを展開でき、子ども同士の関わりが生じやすくなるように工夫している。
- ⑤ 給食・昼休み (11:45~13:00)
給食は、学級ごとに教室で食べる。食器や食缶を運び、台拭きや配膳などの準備を分担して行う。子どもに応じて、食事の量を調節したり、好き嫌いが少なくなるように配慮したり、スプーンやはしなどの使い方を支援したりする。
食後は、片付けをしてから歯を磨き、昼休みをとる。好きな本を読んだり、遊具で遊んだりするなど、自由に過ごす。
- ⑥ チャレンジタイム (低・中学年 月~金曜日 13:00~13:30
高学年 月・火・木・金 13:00~14:30 水 13:00~13:30)
身体の動きや手指の操作性、ことば・かずなど一人ひとりの課題に応じて学習内容を設定し、取り組んでいる。また、学級ごとにテーマを決めて活動したり、校外学習などの事前学習を行ったりすることもある。高学年は、教室の掃除やエプロンの洗濯などをする時間も設けている。
- ⑦ 着替え・帰りの会 (低・中学年 月~金曜日 13:30~14:00
高学年 月・火・木・金 14:30~15:00 水 13:30~14:00)
着替えをして、連絡帳や着替えをバッグに入れ、帰りの会で今日の活動の振り返りや翌日の予定を確認する。
- ⑧ 児童生徒会 (月2回 月曜日 高学年学級のみ 13:00~13:50)
役員会を中心に「図書・掲示」「美化」「元気100%」「リサイクル」の4つの委員会がある。中学部及び高等部の生徒と共に取り組む。
◎役員会
 - ・児童生徒会の企画・運営
 - ・全校朝会の運営・進行
 - ・選挙管理
 - ・学校行事の企画運営
 - ・図書・掲示委員会 (本の整理、掲示板や校内の掲示・装飾)
 - ・美化委員会 (学校の掃除や環境整備などの美化活動)
 - ・「元気100%」委員会 (朝の運動の進行、保健・給食目標の校内掲示など)
 - ・リサイクル委員会 (エコキャップやアルミ缶の収集など)

*役員会は、会長1(高)、副会長2(中・高)、学部代表3(小・中・高)の計6名で構成される。役員は、全校児童生徒の選挙により選出され、任期は1年である。

- ⑨ 道徳 (教育活動全体を通じて各学習の中で取り組む)
自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然との関わりに関することを個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

(4) 一年間の学校生活

注 年度当初の予定

月	学校生活のテーマ			行事等
	低学年学級	中学年学級	高学年学級	
4	4/10 学級 4/11 新入生歓迎会			前期始業式(4/8) 入学式(4/9) 新入生歓迎会(4/11) 面談週間(4/17~23)
	4/12~4/26 生活単元学習(制作活動、新学期準備など) ※各学級で行う			
5	4/30~5/21 運動会		※学校全体で行う	運動会(5/18)
6	5/22~6/5 生活単元学習(制作活動、調理、音楽活動など) ※各学級で行う			授業参観(6/15) 校内宿泊学習(7/4~5)
	6/6~6/28 遊びの指導			
7	7/1~7/16 ※予定 体育(プール・水遊び(仮))			授業終わりの会(7/18)
	7/17 学級 7/19~8/25 夏 休 み			
8	8/27~8/30 学級活動			授業はじめの会(8/26) 宿泊学習(9/12~13)
	9/2~9/17 生活単元学習「草笛の丘に泊まろう(仮)」 ※学部全体で行う			
9	9/18~10/9 生活単元学習(制作活動、調理、音楽活動など) ※各学級で行う			前期終業式(10/10) 後期始業式(10/17) 面談週間(10/18~24)
	10/11~10/16 秋 休 み			
10	10/21~11/12 遊びの指導			公開研究会(11/8) 秋の遠足(11/15) 6年生修学旅行(12/4~6) 小学部発表会(12/13)
	11/13~11/15 秋の遠足(こどもの国キッズダム(仮))			
11	11/18~12/16 生活単元学習「音楽発表会をしよう」 ※学部全体で行う			授業終わりの会(12/20)
	12/17~12/19 学級 12/23~1/6 冬 休 み			
12	1/8~1/24 生活単元学習(制作活動、調理、音楽活動など) ※各学級で行う			授業はじめの会(1/7) 授業参観(1/18)
	1/27~2/21 遊びの指導			
1	2/25~3/11 生活単元学習「お別れ会をしよう」		「卒業制作・進級制作を作ろう」 ※「お別れ会」の練習も行う	面談週間(2/25~2/28) 小学部お別れ会(3/11) 卒業式(3/12) 修了式(3/21)
	3/13~3/19 学級活動(1年のまとめ、掃除など) ※各学級で行う			
2	3/24~ 春 休 み			

※児童の興味・関心や教師のねらいなどによって各単元のテーマを決め、学習内容を設定しています。

9. 中学部の生活

健康で、日々充実した学校生活を過ごし、小学部、小学校段階で身に付けた力をさらに高め、より自立的に生活できるよう、以下の点に重点を置く。

- 自分なりの目標をもち、考えや意見を伝えることで学校生活の計画に主体的に参加したり、自身の力を最大限に発揮したりする経験を積み重ねることができるようにする。
- 心身の健康を保持増進するために必要な習慣や態度を身に付けられるようにする。
- 集団生活でのルールやマナーを守ること、役割を果たすことなどを通して、仲間との生活を楽しむための基礎的な力を身に付けられるようにする。
- 卒業後や将来の社会生活を見据え、働くこと、より豊かに生活することを目指した主体的な進路選択・決定のための基礎的な力を身に付けられるようにする。
- 家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行い、協力関係を深め、共通理解を得られるようにする。

(1) 学級編制と生徒数

学年/学級	男	女	計
1年	4	2	6
2年	5	1	6
3年	4	2	6
合計	13	5	18

(2) 週日課表

時間*	月	火	水	木	金
9:00	登校				
	着替え・朝の学習・朝の会				
9:30	全校朝会 (月2回)	朝の運動(保健体育)			
		生活単元学習/作業学習 ※3			
10:15	給食準備・給食・昼休み				
13:00	児童生徒会活動	※1 チャレンジタイム (国・数/自活)	清掃	※1 チャレンジタイム (国・数/自活)	
		※2 音/美/保体	帰りの会等		※2 音楽/美術/保体
13:50	学級活動		帰りの会等		※2 音楽/美術/保体
		14:00	音/美/保体		音楽/美術/保体
14:30	着替え・帰りの会		下校	着替え・帰りの会	
	下校				下校
15:00	下校				

- * : 時間は活動開始時刻
- ※1 個別課題学習として実施
- ※2 学年ごとやグループ別で、学習内容、活動は時期によって設定
- ※3 時期によって、「発見タイム(職業・家庭/総合的な学習の時間)」に取り組むことがある

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・日常生活の指導・朝の学習・朝の会（9：00～9：30）

登校後、連絡帳・日記帳を所定の場所に提出する。その後更衣や一日の生活に向けた準備をする。朝の学習では、生徒の実態に応じた学習課題や学級の係活動に取り組む。

朝の会は学級ごとに行う。出欠や一日の活動の流れを確認し、見通しをもとに生活学習がすすめることができるようにする。

② 全校朝会（月2回程度 月曜日 9：30～10：15）

内容は、小学部の項と同じ（p.9参照）。

③ 朝の運動（保健体育）（児童生徒会のない月曜日、火、水、木、金曜日 9：30～10：15）

健康の保持・増進及び望ましい運動習慣を身に付けるためにラジオ体操やランニングなどを行い、気持ちの良い一日が始められるようにする。ランニングは、走る周数を決めるなどし、個々のペースで取り組む。高等部と合同で活動する。

④ 生活単元学習（10：15～12：00）

時期ごとに生活のテーマを設定し、活動に取り組む。学級ごとに取り組んだり、学部全体、全校で取り組んだりする。「作業学習」とともに、中学部の生活の中心となる活動となっている。

⑤ 作業学習（10：15～12：00）

作業班は「あいぞめ班」「えんげい班」「やきもの班」の3班がある。作業班の所属は学年を越えた縦割りで編成し、生徒の希望や課題、家庭からの要望、教師のねらいなどを考慮しながら決定する。「生活単元学習」とともに、中学部の生活の中心となる活動となっている。

あいぞめ班 本藍で、ハンカチやTシャツ、小物などを染めている。絞り染めや段染めなど、工夫をこらし、味わいのある製品を作っている。

えんげい班 時期や草花の種類に応じて播種による栽培や、苗を植えかえての栽培を行っている。草花を利用した加工製品作りにも取り組んでいる。

やきもの班 泥しょう鑄込み、たたら、機械ろくろによる成形、素焼き、釉がけ、本焼きなどの工程により、カップや皿、小鉢などを製作している。

⑥ 発見タイム（年間8回程度 10：15～12：00）

体験的な活動に、年間を通して取り組む。ボランティア活動や交流学習、交通ルールや公共機関の利用、人との接し方など、社会のルールやマナーなど、社会とつながりに関すること、また、体の発育・発達、風邪の予防など健康に関すること、行事の事前・事後学習及び余暇を含めた卒業後の生活、進路に関することの学習に取り組む。

⑦ 給食準備・給食・昼休み（12：00～13：00）

手洗いや身支度を行い、衛生面に気を付けながら、食器や食缶の運搬、台拭き、配膳などの準備や片付けを全員で行う。食器の扱いなどを含む、食事のマナーも身に付けられるようにする。

⑧ 児童生徒会（月2回程度 月曜日 13：00～13：50）

内容は小学部の項と同じ（p.9参照）。

⑨ チャレンジタイム（児童生徒会のない月曜日および火曜日、木曜日、金曜日 13：00～13：50）

主として、個別課題を中心とした学習に取り組む。生徒の実態や課題、ニーズ等に応じた弁別課題や読み・書き・計算などの学習をしたり、手指の巧緻性を高める、認知・コミュニケーションの力を高めるための学習に取り組んだりする。

⑩ 学級活動（月2回程度 児童生徒会のある月曜日 13：50～14：30）

学級での活動を中心にして望ましい人間関係を育てたり、集団の一員として活動し、自主的で実践的な生活態度を育てたりする。主に、掃除などの身近な生活に関わる活動や学習の導入やまとめの活動に取り組む。

※⑪～⑬諸行事や時期に合わせ題材化して取り組む。

⑪ 音楽（児童生徒会のない月曜日および火曜日、木曜日、金曜日 13：50～14：30）

合奏やダンス、身振りを交えた表現、合唱や鑑賞などに取り組む。

⑫ 美術（児童生徒会のない月曜日および火曜日、木曜日、金曜日 13：50～14：30）

材料や用具を使い造形活動に取り組んだり、造形や作品などを鑑賞したりする活動に取り組む。

⑬ 保健体育（児童生徒会のない月曜日および火曜日、木曜日、金曜日 13：50～14：30）

社会自立に必要な体力や運動に親しむ態度を身に付けられるよう、持久走、ボール運動やダンスなど、様々な運動に取り組む。

⑭ 清掃（水曜日 13：00～13：30）

自分たちの教室の他、各学級に割り当てられた場所の清掃に取り組む。

⑮ 着替え・帰りの会（月・火・木・金曜日 14：30～15：00、水曜日 13：30～14：00）

登下校用の服装に着替える。帰りの会は一日の振り返りや明日の日程確認を各学級単位で行う。

⑯ 道徳（教育活動全般）

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、教育活動全般を通して、道徳的判断力や心情、実践意欲と態度を身に付ける。自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然との関わりに関することを個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

(4) 校内実習及び産業現場等における実習

・時期

9月～10月

・期間、方法など

1年生 約3週間 全員が校内での実習に取り組む。

2年生 約3週間 全員が同一事業所（企業等）で実習する。担任は事業所で一緒に仕事に取り組む。

3年生 約3週間 2年生と同様に全員が同一事業所（企業等）で実習する。本人・保護者の希望を受け、担任が必要と判断する場合は、単独での企業実習を行うこともある。

(5) 一年間の学校生活

月	学校生活のテーマ			行事等
	生活単元学習等			
	1年	2年	3年	
4	4/9~4/12 新学期準備	4/8~4/12 新学期準備	4/8~4/12 新学期準備	前期始業式 (4/8) 入学式 (4/9) 歓迎会 (4/12)
5	4/30~5/21 学校全体で取り組む生活単元学習 (運動会)			運動会 (5/18) 修学旅行 (5/29~5/31)
6	5/22~6/3 学年生単	5/22~6/3 学年生単	5/22~6/3 学年生単	6/4~6/27 夏市に向けて・夏市 夏市 (6/26)
7	6/28~7/16 学部生活単元学習① (内容未定)			授業終わりの日 (7/18)
8	7/19~8/25 夏 休 み			
9	8/28~9/17 学部生活単元学習② (宿泊学習)			授業始めの日 (8/26) 宿泊学習 (9/12~13) 校内・現場実習 (9/19~10/7) 実習激励会 (9/20)
10	9/19~10/7 校内実習 (1年生) 産業現場等における実習 (2・3年生)			実習報告会 (10/7) 前期終業式 (10/11) 後期始業式 (10/17)
11	10/11~10/16 秋 休 み			
12	10/18~11/13 学部生活単元学習③ (内容未定)			
12	11/18~12/6 学部生活単元学習④ (駅伝大会)			駅伝大会 (12/5) (予備日12/12) 授業終わりの日 (12/20)
1	12/9~12/18 納品・冬市に向けて①			授業始めの日 (1/7)
1	12/21~1/6 冬 休 み			
2	1/8 学級活動・1/9 学部集会			1/10~1/24 納品・冬市に向けて②
2	2/20~2/27 学年生単	2/20~2/27 学年生単	2/20~2/27 学年生単	1/27~2/18 冬市に向けて・冬市 地域交流会 (冬市) (2/14)
3	2/19 作業納会			
3	3/3~3/11 1・2年生合同生単 (送別会)			卒業を祝う会 (3/10) 卒業式 (3/12) 修了式 (3/21)
3	3/13~3/19 学級活動	3/13~3/19 学級活動		

※作業班の単元テーマは、年度当初の予定(仮)である。

10. 高等部の生活

自身の個性を生かし、仲間とともに健康で充実した学校生活を送りながら、卒業後、自分らしく自主的に生活する力をもった生徒を育てることができるよう、以下の点に重点を置く。

- 自分の考えや意見を持ち、一人一人が学校生活に参加し、主体的に生活できるようにする。
- 心身の健康の保持増進に努め、安全・衛生を含む習慣や態度を身に付けられるようにする。
- 産業現場等における実習などを経て、卒業後の生活を意識した経験をし、必要な知識、技能、態度を身に付けられるようにする。
- 社会の一員として生活できるよう、集団生活でのルールを守ると共に、自分の役割を理解し、果たせるようにする。
- 卒業後のより良い生活につなげられるよう、自分のことは自分で行う習慣や、将来について考える態度を身に付けられるようにする。
- 家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行うとともに、生徒の意思を尊重した進路決定ができるようにする。

(1) 学級編制と生徒数

学年/学級	男	女	計
1年	5	3	8
2年	6	2	8
3年	7	2	9
合計	18	7	25

(2) 週日課表

時間*	月	火	水	木	金
9:00	着替え・朝の学習・朝の会				
9:10	個別課題学習・SHR				
9:30	全校朝会 (隔週)	朝の運動(保健体育)			
10:00	移動・着替え				
10:15	作業学習/生活単元学習/総合的な探究の時間				
12:00	給食・昼休み				
13:00	児童生徒会 (隔週)	※1 保健体育・職業/家庭 ※2 社会生活・暮らし ※3 作業学習・生活単元学習・総合的な探究の時間			
13:50	※4	着替え・SHR	※4		
14:00	チャレンジタイム	14:00下校	チャレンジタイム		
14:20	清掃	清掃			
14:30	着替え SHR	着替え SHR			
15:00	下校	下校			

- *：時間は活動開始時刻
- ※1 通常日課の中で週1~2回程度を基本に実施。
 - ※2 不定期に年間12~15回程度実施。
 - ※3 行事前後の時期など単元に応じて適宜実施。
 - ※4 個別課題学習・自立活動を主に行う。

(3) 一日の生活の流れ

- ① 登校・着替え（～9：00）
連絡帳や提出物を出すなど自分の荷物を整理し、身支度を整える。
- ② 個別課題学習・SHR（9：00～9：30）
生徒の実態に応じた様々な学習課題やクラスの係活動に取り組む。SHR（朝の会）では、出欠の確認や健康観察、日程の確認を行う中で、任された役割に応じた活動に取り組む。
- ③ 全校朝会（毎月2回程度 月曜日 9：30～10：15）
内容は、小学部の項に同じ（p.9参照）。
高等部は、同じなかよし学級の他学部児童生徒に声かけを行う。
- ④ 朝の運動（火～金曜日 9：30～10：15 ※全校朝会のない月曜日にも行う）
内容は、中学部の項に同じ（p.12参照）。
- ⑤ 作業学習（主に10：15～12：00 ※販売会前などは午後にも行う場合がある）
高等部の教育課程における中心の活動。農耕班、木工芸班の作業班に分かれる。学年・学級を越え、縦割りで編成する。生徒の希望や個性、作業班の実情などを考慮し所属を決定する。
作業班それぞれに主要な製品・生産物を定め、年間、ほぼ恒常的に取り組んでいる。生徒が目標や見通しをもち、主体的に取り組めるよう、時期ごとにテーマを設定し、活動にまとまりや節目をつけて展開するようにしている。
どの作業班も、完成度の高い製品やより良い生産物を作ることに努めている。また、製作・栽培活動を中心に、原材料の注文や購入、販売活動にも積極的に取り組み、一連の流れを生徒が主体となって運営できるようにしている。
農耕班 学校敷地内外の畑にて、無農薬でジャガイモ、ダイコン、ホウレンソウ、サツマイモ、サトイモ、タマネギ、ニンニク、ソラマメ、ダイズなどを季節ごとに栽培している。また、室内でのポップコーンの実もぎやバック詰め、切り干し大根の食品加工にも取り組んでいる。栽培する作物や畑の管理について調べ学習などを通じ、理解を深めながら協力し合い、取り組んでいる。
木工芸班 機織り機で織った布や革を用いてポーチ、コインケース、トートバッグ、キーホルダー等を加工して作ったり、木材を加工して箸、小物入れ、コースター等を作ったりしている。また、それぞれの素材を合わせた製品作りも行っている。様々な道具を用いたり、補助具を介したりして、任された工程に取り組み、力を合わせてより良い製品作りを通じ、協働性を高めながら取り組んでいる。
- ⑥ 生活単元学習（行事と関連付けして実施。10：15～12：00または必要に応じ午後にも行う）
運動会、学部合宿への取り組みの中で集団としての力を高め、協力し合いながら一つの目標に向かって活動に取り組んでいる。必要な制作物に取り組む美術的な活動や、レクリエーションや発表活動などに絡めた音楽的な活動などにも取り組みながら、生徒同士で話し合ったり、必要なことを考えたりし、集団の中で個々の成長も考慮できるよう努めている。また、1・2年生は「送別会」、3年生は「卒業に向けて」それぞれの学級で取り組む。
- ⑦ 総合的な探究の時間（時事に応じて様々な時間に必要に応じて実施）
宿泊、修学旅行に向けた活動、キャリアパスポート作成に関する活動、地域や大学との交流、時事に関する活動など、テーマを設定し課題解決型の活動や探究的な活動に取り組む。
- ⑧ 給食（12：00～13：00）
運搬・配膳等を協力して行い、各学級に配膳した後、学級ごとに給食を食べる。
- ⑨ 児童生徒会（毎月2回程度 月曜日 13：00～13：50）
内容は、中学部の項と同じ（p.12参照）。

⑩～⑫は児童生徒会のない月曜日及び火～金の13：00～13：50の時間を主とし、諸行事や時期などの無い時期に通常日課として週1～2回程度の頻度で実施。

- ⑩ 保健体育
ボッチャ、ポートボール、Tボール、モルック、フライングディスク、フロアホッケー等、豊かなスポーツライフの実現につながるような様々な競技や種目に取り組んでいる。また、ストレッチやタオル体操などの基本的な体の使い方や動かし方を学ぶ活動に取り組んでいる。性指導や感染予防や歯科指導などの保健学習も行う。
- ⑪ 職業／家庭
「産業現場等における実習」に向けての準備に加え、働くことの意義や役割を理解することに重点を置き、賃金とその使い道、日常生活で使う道具・器具の使用、掃除、調理実習など、将来の自立的な生活に必要な活動に、進路希望などに応じた三つのグループに分かれて取り組む。
- ⑫ 社会生活・暮らし（年間12～15回程度）
卒業後の生活を見据え、望ましい人との関わり方、SDGs、情報教育、ICT教育、主権者教育、余暇生活の在り方等について学習を行う。
- ⑬ チャレンジタイム（月～金曜日 13：50～14：20）
主として、生徒の実態や課題、ニーズに応じ、個別課題を中心とした自立活動や読み書き、計算などの学習を行う。また、期間により、学級集団での学習を行ったり、実習ノートの作成を行ったりと、必要に応じた生徒個々の取り組みも行う。
- ⑭ 清掃・着替え・SHR（14：20～15：00）
各教室、集会室、トイレなど担当場所の清掃を行う。清掃の終わった生徒は、下校に向けて着替え・荷物整理等を行う。SHR（帰りの会）では、一日の振り返り、翌日の日程確認等を学級で行う中で、任された役割に応じた活動に取り組む。
- ⑮ 道徳（教育活動全般）
生徒の実態に応じて、他者とよりよく生きるための道徳性を身につけられるようにルールやマナー、伝統や文化等について学び、家庭と連携しながら道徳性を育む。

(4) 学級活動等

学校行事や学部行事に向け、各行事に合わせて全学部縦割りグループや学級、学部全体などで取り組む。

(5) 産業現場等における実習

実習の場を、企業や福祉事業所などに設定し、卒業後の働く生活を目指し、より実践的な働く力を身に付けることを主たる目的とする。

- ・原則として、実習先事業所の勤務条件に合わせて実習を行う。
- ・原則として、前期、後期ともに一人1事業所とし、担任は巡回訪問する。
- ・期間 5月下旬～6月上旬 2週間 2・3年生（1年生は校内実習）
9月下旬～10月上旬 2週間 全学年
適宜 各学年で必要とされる生徒に限って随時行う

(6) 一年間の学校生活

月	学 校 生 活 の テ ー マ			行事等
	作 業 学 習		学級活動等	
	農耕班	木工芸班		
4	(3/23~4/7 春季休業)			前期始業式 (4/8) 入学式 (4/9) 新入生歓迎会 (4/11)
5	4/16~5/23 「新年度の作業班を立ち上げよう (仮)」他		4/30~5/21 運動会	運動会 (5/18) 第一期実習激励会 (5/24)
6	5/27~6/7 2・3年生：産業現場等における実習 1年生：校内実習		6/21~6/28 宿泊学習に向けて (1年)	第一期実習報告会 (6/12) 1年宿泊学習 (6/25~26)
7	6/13~7/16 「販売会を成功させよう (仮)」			販売会 (7/12)
8	(7/19~8/25 夏季休業)		7/1~9/10 学部合宿に向けて	
9	9/24~10/4 産業現場等における実習 (10/11~10/16 秋季休業)		9/11~9/19 総合的な探究の時間「作業学習について深めよう (仮)」	学部合宿 (9/4~9/6) 第二期実習激励会 (9/20) 第二期実習報告会 (10/8)
10	10/9~11/21 「ふよう市を成功させよう (仮)」			前期終業式 (10/10) 後期始業式 (10/17) 公開研究会 (11/8) ふよう市 (11/15)
12	11/22~12/19 「販売会の反省から班の取り組みを見直そう (仮)」		12/10~1/9 修学旅行に向けて (2年)	駅伝大会 (12/6) 2年修学旅行 (12/17~19)
1	(12/21~1/6 冬季休業)			
2	1/10~2/27 「ものづくり市を成功させよう (仮)」			ものづくり市 (2/21) 作業納会 (2/27)
3	3/13~3/14 「次年度に向けての作業班体験」		3/4~3/11 3年：卒業に向けて 1・2年：送別会に向けて	高等部送別会 (3/10) 卒業式 (3/12) 修了式 (3/21)

※作業班の単元テーマは、年度当初の予定

11. 進路・移行支援年間計画

注 年度当初の予定

*以下、表中の「○」は、対象者を示します。産業現場等における実習は、「現場実習」と記載します。

月	日・曜	内 容	小学部	中学部			高等部			卒後
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	
4	3 (水)	卒後支援① (電話〈新卒生〉) 進路・移行支援委員会①					○	○	○	○
	上旬	関係機関挨拶								
	30 (月)	進路希望アンケート配付 保護者向け研修会①	○	○	○	○	○	○	○	
	下旬	卒後支援② (2・3年日)								○
5	24 (金)	保護者向け研修会② 高等部 第1期実習激励会	○	○	○	○	○	○	○	
	27 (月) ~	高等部1年 校内実習 高等部2・3年 第1期現場実習				○	○	○		
6	~7 (金)	高等部 第1期現場実習・校内実習				○	○	○		
	3 (月) ~ 7 (金)	卒後支援③ (新卒生訪問) 職場開拓								○
	11 (火)	高等部 実習報告会 (他学部も参観可)	○	○	○	○	○	○	○	
	18 (火) ~ 19 (水)	小学部 学校見学会								
	20 (木)	中学部 学校見学会	○							
	21 (金)	高等部 学校見学会		○	○	○				
	18 (火) ~ 21 (金)	高等部 進路面談					○	○	○	
7	下旬	職業相談・登録 (ハローワーク主催)								○
	夏季休業中	事業所見学					○	○	○	○
		卒後支援④ (電話・訪問)								○
8	28 (水)	進路・移行支援委員会②	○	○	○	○	○	○	○	
8~9月	進路決定にむけての授業参観	小6				○				
9	20 (金)	中学部 実習激励会 高等部 第2期実習激励会	○	○	○	○	○	○	○	
	24 (火) ~	中学部 現場実習 高等部 第2期現場実習		○	○	○				
10	~4 (金)	中学部 現場実習 高等部 第2期現場実習 卒後支援⑤ (電話・訪問)		○	○	○				○
	7 (月)	中学部 実習報告会	○	○	○	○	○	○	○	
	8 (火)	高等部 実習報告会	○	○	○	○	○	○	○	
	7又は8	保護者向け研修会③	○	○	○	○	○	○	○	○
11	中旬	高等部1・2年生事業所見学				○	○			
12	~中旬	高等部1・2年生事業所見学				○	○			
1	20 (金)	進路・移行支援委員会③								
2	中旬~	高3 進路手続き アセスメント実習								○
	上旬~	高3 進路手続き								○
3	19 (水)	進路・移行支援委員会④								
	25 (火) ~ 28 (金)	高等部 進路面談					○	○		
3	上旬~	高3 個別の移行支援会議								○

*卒後支援は、訪問、電話連絡等を随時行う。

12. 卒業・修了生の進路

(1) 卒業・修了時の進路

高等部の数は途中修了生を含む

卒業年度	小学部			中学部				高等部				途中修了(内数)					
	性別			卒業時の進路				卒業時の進路									
	男	女	計	男	女	計	就	高	施	他	男		女	計	就	施	他
昭48～49	6	8	14	14	15	29	17	8	1	3							
50	2	4	6	5	3	8	4	4									
51	4	2	6	4	4	8	4	4			1	5	6	3	2	1	
52	1	3	4	2	3	5	2	3			3	3	6	4	1	1	
53	1	2	3	4	4	8	2	6			4	2	6	4	2		
54	2	2	4	6	3	9	5	3			2	3	5	4	1		
55	3	2	5	3	5	8	3	5			4	2	6	4	2		
56	1	1	2	4	2	6	3	3			7	4	11	8	3		
57	2	1	3	4	2	6	2	4			4	4	8	3	4	1	
58	1	1	2	4	2	6	2	4			4	6	10	9	1		
59	3		3	5	3	8	3	5			10	3	13	11	2	(2)	
60	1	2	3	4	3	7		7			4	3	7	7			
61	2		2	5	2	7	2	4	1		9	1	10	9	1	(1)	
62	2	2	4	5	2	7	1	6			8	3	11	7	4	(2)	
63	2	1	3	4	3	7	1	6			5	4	9	6	1	2	
平成元年	1	2	3	5	1	6	2	4			5	3	8	7	1	(2)	
2	2		2	5	3	8		8			7	4	11	9	2	(2)	
3	3		3	5	2	7	1	5	1		5	5	10	4	6		
4	3	1	4	4	4	8	3	4	1		7	4	11	8	3	(3)	
5	3		3	6	1	7	1	6			7	3	10	4	3	(2)	
6	1	2	3	5	2	7	1	6			7	3	10	4	5	(2)	
7	2		2	4	2	6	1	5			5	4	9	6	3	(1)	
8	1	2	3	7	1	8		8			14	2	16	10	6	(5)	
9		2	2	2	4	6		6			8	4	12	6	6	(1)	
10	2	2	4	5	1	6		5	1		8	3	11	5	6	(1)	
11	3		3	3	5	8		7	1		13	3	16	6	10	(2)	
12	4		4	5	3	8		8			7	5	12	6	3	(2)	
13	1	1	2	4	3	7	1	7			7	4	11	4	6	(1)	
14	3	1	4	7		7	1	6			4	6	10	4	6	(1)	
15	1		1	8	1	9		9			13	4	17	11	6	(4)	
16	1	2	3	3	2	5		5			6	6	12	7	5	(1)	
17	4		4	7	3	10		10			8	0	8	6	2	(1)	
18	4		4	2	1	3		3			12	2	14	7	7	(1)	
19	1		1	3	2	5		5			10	3	13	8	5	(2)	
20	1	3	4	6	1	7		7			10	3	13	4	9	(2)	
21	1	1	2	5	2	7		6	1		4	3	7	2	5		
22	3		3	6		6		6			8	4	12	8	4	(1)	
23	3	1	4	3	4	7		7			9	1	10	4	6		
24	2		2	6	2	8		8			9	2	11	3	7	1	
25	3		3	4	1	5		5			10	2	12	4	8		
26	3		3	6	2	8		8			6	5	11	3	8		
27	2		2	6		6		6			7	3	10	5	5		
28	1	2	3	6		6		6			6	2	8	2	6		
29	1		1	5	1	6		6			6	3	9	3	6		
30	1	1	2	3		3		3			8	0	8	4	4		
令和元年	1	1	2	2	3	5		4	1		6	3	9	0	9		
2	2	1	3	4	0	4		3	1		6	2	8	1	7		
3	2	1	3	2	2	4		4			5	0	5	1	3	(1)	
4	3	0	3	4	2	6		6			4	3	7	1	6		
5	2	1	3	3	3	6		6	0		7	1	8	1	7		
合計	104	56	160	235	117	344	66	280	6	6	329	148	477	247	215	14	(43)

※就→就職 高→高等部 施→通所施設等 他→家業・家事

(2) 就職後の動向

高等部の数は途中修了生を含む

年度	中学部						高等部					
	卒業時	現在	増減	離職先			卒業時	現在	増減	離職先		
				家庭	作業所	施設				家庭	通所施設等	他
令和2	0	0	±0				1	1	±0			
3	0	0	±0				1	1	±0			
4	0	0	±0				0	0	±0			
5	0	0	±0				0	0	±0			

13. 卒業生への対応

卒業生への対応として、卒業前に全員を対象とした移行支援会議を開き、スムーズな移行支援ができるように努めている。卒業後は様々な問題に対応するため、進路・移行支援委員会を設けて活動しているほか、夏期休業中には全職員で卒業後3年までの卒業生を対象に卒業支援を実施している。

- 移行支援会議（学校・保護者・進路先・相談支援機関などが参加）
 - 全卒業生を対象に実施してスムーズな移行を目指す。
 - 移行支援計画を元にして情報の共有や意見の交換を行う。
- 進路・移行支援委員会
 - 卒業生の様々な相談等に応じる。
 - 関係各機関と連絡、調整を行う。
- 卒業支援（定期）

	4月	第1期(前期)産業現場等における実習期間	第2期(後期)産業現場等における実習期間
卒業1年目	訪問による卒業支援	訪問による卒業支援	訪問による卒業支援
卒業2年目	電話による卒業支援	電話による卒業支援	電話による卒業支援
卒業3年目	電話による卒業支援	電話による卒業支援	電話による卒業支援
担当	進路・移行支援部	進路・移行支援部	進路・移行支援部

*随時、必要に応じて訪問による卒業支援を実施している。

14. 児童生徒の入学募集等

(1) 募集人員（定員）

- 小学部第1学年 3名
- 中学部第1学年 6名
- 高等部第1学年 8名

定員を超えて、入学者を受入れることがある。

年度によって、他の学年についても若干名募集することがある。

(2) 応募資格

- 知的発達に障害のある幼児児童生徒で、特別支援教育が適当と判断される者。
- 保護者と居住し、家庭から通学できる者。

(3) 募集時期

小学部、中学部、高等部とも後期11月（予定）。応募書類の配布、応募書類の受け付け、入学者選考などの日程については、6月に公示し、9月末に志願者説明会を実施する。

(4) 入学者選考

毎年11月下旬に行っている。遊び、運動、作業の様子や行動観察などによる調査を実施し、入学候補者を決定する。

(5) 入学・教育相談

入学も含めた教育相談については、年間を通じて常時受け付けている。事前に電話等で相談日を決めて行う。必要に応じて体験入学（半日）も実施している。

(6) 学校見学会 I期・II期

本人、保護者、教育関係者を対象に学校見学会を6月・8月に実施し、学校概要の説明や学校全体、各学部の様子を見学する機会を設けている。

(7) 体験入学

知的発達に障害のある近隣の幼児・小学生を対象に、本校の活動を体験する機会を設けている。

15. 学校運営組織

(1) 教職員等

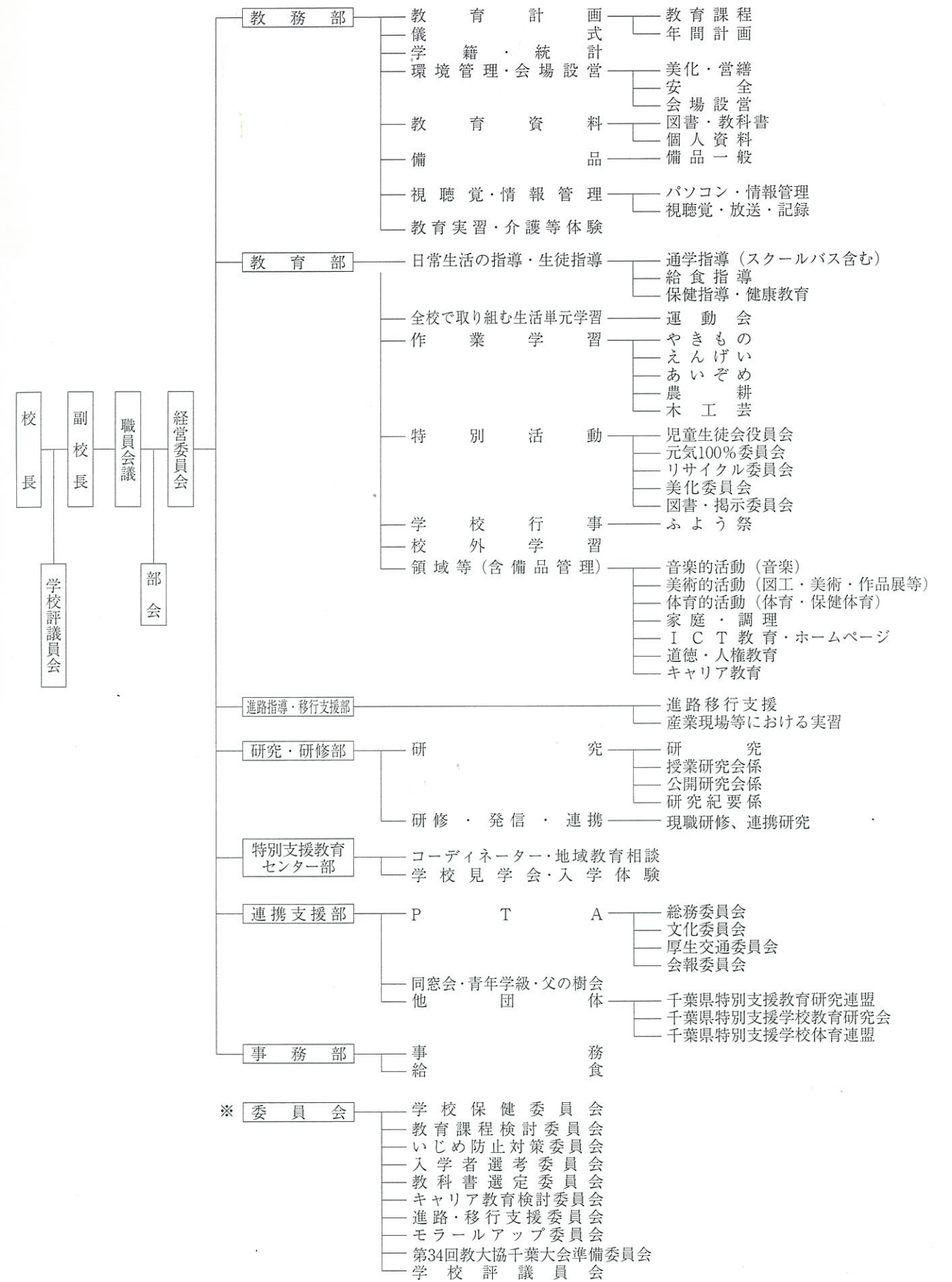
校長	辻 耕 治
副校長	野 村 知 宏
教 諭	小 林 寛 子
教 諭	高 橋 良 育
教 諭	安 田 貴
教 諭	杉 野 智 子
非常勤講師	五枚橋 千加子
教 諭	名 取 幸 恵
教 諭	小笠原 涉
教 諭	上 面 拓
非常勤講師	稲 葉 百合子
教 諭	常 川 睦
教 諭	實 方 良 輔
特任専門職員	竹 内 光 香
教 諭	佐 藤 昌 史
教 諭	古 滝 達 也
教 諭	豊 田 賢 太
特任専門職員	高 橋 礼 子
教 諭	石 井 優 恵
教 諭	菅 原 宏 樹
教 諭	片 倉 喜 朗
教 諭	大 井 麻 莉 子
教 諭	菅 悠 彦
教 諭	池 田 和 也
教 諭	菅 原 綾 佐 子
教 諭	志 田 和 之
教 諭	川 崎 麻 琴

教 諭	根 橋 亘
教 諭	濱 村 毅
教 諭	畝 本 実 咲
教 諭	早 川 拓 海
実習助手	田 場 優 子
養護教諭	濱 村 純 子
係 長	保 科 隆
主 任	小 島 規 子
事務系職員	後 藤 雅 彦
栄 養 士	植 村 浩 美
技能系職員	梅 本 裕 美
技能系補佐員	澤 幡 裕 子
技能系補佐員	及 川 記 子
用 務 員	浅 川 昇
スクールカウンセラー	滝 村 裕 子
スクールソーシャルワーカー	渡 邊 美 代 子

学 校 医

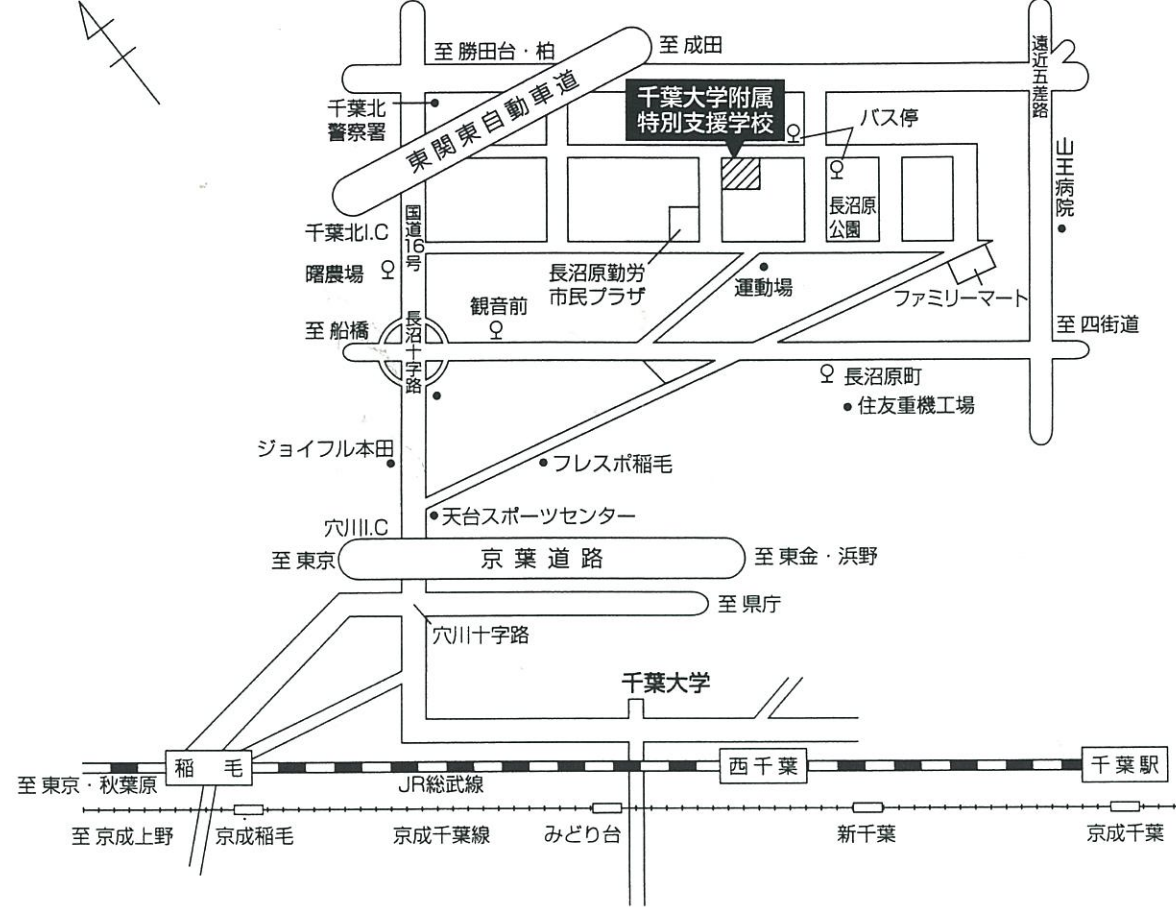
内 科	塩 濱 直
歯 科	中 嶋 大
眼 科	三 浦 玄
耳 鼻 科	米 倉 修 二
精 神 科	花 澤 寿
整 形 外 科	木 村 青 児
学校薬剤師	永 島 一 輝

(2) 校務分担



16. 学校周辺案内図

所在地 千葉市稲毛区長沼原町312番地
 電話 043 (258) 1111(代)
 F A X 043 (258) 9303



交通機関

- JR 稲毛駅下車 京成バス 稲毛区役所経由 山王町行 (快速停車) 長沼原公園下車 徒歩3分
- JR 四街道駅下車 千葉内陸バス 草野車庫行 長沼原町又は観音前下車 徒歩15分
- 京成・東葉高速 勝田台駅下車 千葉内陸バス スポーツセンター行 曙農場前下車 徒歩15分

千葉大学教育学部附属特別支援学校 校舎配置図

